

全国88,000社の整備工場とNGP組合員200拠点を結ぶホットライン

2006.10月号

NIPPON GOOD PARTS



リサイクル部品活用促進ツールの第二弾が完成!!

もっと身近に! もっと気軽に!
リサイクル部品をお使いいただきたいから作りました!!

NGP協同組合では、一般ユーザーにもっと自動車リサイクル部品のことを知ってもらい活用してもらうため、リサイクル部品のことを簡単にわかりやすく説明できる啓蒙ツールを作成しました。このツールは今後、NGP商品を扱っていただいている「リサイクル部品活用推進店」の自動車整備工場や钣金工場などに活用して頂けるよう無料配布していきます。

リサイクル部品の積極活用をアピール

自動車リサイクル法が施行され、使用済自動車の適正処理は大きく前進を見せました。しかし、リサイクル法のもう一つの目的であるリサイクル部品の活用拡大は、いまだ進んでいないのが現状です。それにはまだまだ一般ユーザーにリサイクル部品の啓蒙が出来ていない、認知度が上がっていないことが大きな原因になっているようです。

今までも整備工場などから“もっとリサイクル部品を積極活用したいのでお客様に簡単にリサイクル部品のことを説明できるツール類が欲しい”という要望が多くありました。

そこでNGPでは、環境に優しくまた愛車を安く修理できる“リサイクル部品を使った修理”をもっと一般ユーザーに知ってもらうため、「リサイクル部品活用促進啓蒙ツール」を作成しました。



リサイクル商品説明用両面パウチ版(表)



リサイクル商品説明用両面パウチ版(裏)



リビルト部品パンフレット(外面)



リビルト部品パンフレット(内面)

整備工場とお客様の橋渡し役に!

このツールは実際に自動車修理を行う自動車整備工場や钣金工場に配布し、一般ユーザーに見積りや修理内容や部品交換を説明する際にリサイクル部品のことをお客様にわかりやすく解説するための説明用ツールとして活用いただくことができます。

今回の啓蒙ツールは、リサイクル部品が出来る作業工程や部品の種類・保証内容などをプリントしたリサイクル部品の説明に活用できる「リサイクル商品説明用両面B4パウチ版」と、修理工場のサービスフロントのカウンターや卓上に置き案内用として活用できる「リサイクル商品三角スタンド」、またリビルト部品の商品ラインナップが掲載された「リビルト部品パンフレット(A3版)」の3点セットで、近々NGP組合員からお取引のある整備工場などに無料配布されることになっています。



卓上リサイクル商品三角スタンド

「リビルト部品パンフレット(A3版)」の3点セットで、近々NGP組合員からお取引のある整備工場などに無料配布されることになっています。

NGPでは、整備工場にこの啓蒙ツールを活用してもらい、一般ユーザーへの自動車リサイクル部品の認知度向上を図るとともにリサイクル部品を使用した修理提案で整備工場の修理需要アップにも活用いただきたいと考えております。

NGPがJLローカルネットと共同で リサイクル部品の新たな輸送システムの研究・事業をスタート!!

NGP協同組合ではこの度、全国の中小輸送業者で組織される日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会（JLローカルネット：木村真一会長）と共同で、自動車リサイクル部品の全国輸送の効率化ならびに輸送時の梱包簡素化を全国積み合わせ輸送システムのもとに実現するための調査研究・基本計画策定事業を実施することとなりました。

最近では原油によるガソリン価格の高騰などにより、リサイクル部品の物流コストが高騰しており、せっかく安くてもいいリサイクル部品が見つかっていても配送費用が高くて購入できないというケースもでてきているようです。

全国ネットのリサイクル部品供給システムを構築しているNGPでは、以前より整備工場から遠隔地のNGP組合員にリサイクル部品の受注を受けた際に輸送コストが部品価格を上回るケースもあり、そのことがリサイクル部品の普及拡大の一

因になっているのではないかと部品流通の研究を独自に行っていました。

今回の共同事業では、経済産業省、中小企業庁が手掛けている「平成18年度物流効率化推進事業」の補助金制度への申請を行っていましたが各経済産業局における審査の結果、この度採択決定を受けた8事業の一つに選ばれました。

NGPとJLローカルネットでは、この補助金等をもとにリサイクル部品の高効率の物流システムや梱包手法を調査、研究し、整備工場や鋸金工場などのリサイクル部品を活用いただく皆様に輸送コストの負担を軽減するための仕組み作りをしていきます。

具体的には小口配送を集約した新たなリサイクル部品の輸送方法や再利用可能な梱包資材の検討を進め、これにより高効率の全国配送システムを構築し、原価低減の実現を目指し、整備工場などの部品調達費や、梱包廃材の処分費用の低減



中小企業庁のホームページにも掲載

に役立つものとしていきたいと考えています。

中小企業庁ホームページアドレス
<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/060727kouritsukasaitaku.htm>

中古部品 & リビルト部品 活用術 Vol.1



《間違いのない注文方法》

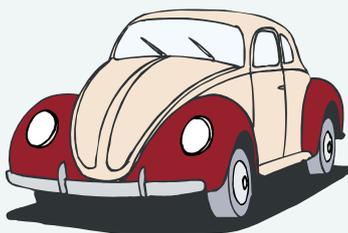
プロの方でも意外と難しいのが各々の車の年式や同車種でもグレードが違くと部品が違ったりするケース。これは、リサイクル部品でも同じことが言えます。

今回はリサイクル部品を注文する際に一回の電話だけでバッチリ注文・問合せができる方法をお教えます。

年式、類別・型式指定は必要。車体ナンバーが分かれば確実です。まずは基本中の基本ということで、車検証をチェックしながらお電話下さい(ホンダ車は車体ナンバーが必要です)。

外装部品の場合はカラーナンバーを必ず確認して下さい。コーションプレートにカラーナンバーが記入されているのでご確認下さい(ホンダ車はフロントドアの後方ピラーなどにプレートがあります)。

内装部品も外装部品と同じように、コーションプレートにトリムナンバーがあるので確認して下さい(ホンダ車はピラーにシールがあります)。



意外と知っているようで見落としていることってありますよね!

部品を注文する際きちんと情報を伝えれば商品間違いなどはなくなり、部品が届けばすぐに作業に取り掛かれて効率的です。

もし分からないことや不明な点がありましたら、NGPのフロントマンに遠慮なくお尋ね下さい。

このコーナーでは、今後もリサイクル部品に関するお役立ち情報を掲載していきます。

MS50の1年間の成果と目標達成に向けて 結束力の再強化!!

MS50経営者研修会をトライアル開催!!

NGP協同組合では昨年の定時総会で新たなマーケットシェア拡大と全組合員の経営体制強化を目指した2カ年計画の事業戦略「MS50」を提唱しスタートさせましたが、一年が経過する10月の定時総会を前に去る8月22日から24日までの3日間、東京・晴海グランドホテルにてNGP協同組合の理事、委員長、支部長クラスの組合員が参加し「MS50経営者研修会」のトライアルを実施しました。

組合としては、1年間の成果として一般ユーザーを対象とした使用済自動車の見積り・買取事業「くるマック」の展開をはじめ、整備工場や钣金工場に対して、

NGPの持つリサイクル部品の共有在庫をWEB（ウェブ）を使って受発注できる仕組み「NGPダイレクトシステム」の本格運用開始などの新たな展開をスタートさせた一方で、各組合員単位でも、目標設定による生産性向上や営業、仕入れの強化、人を活かすための仕組み作りなどアクションプランを作成して個社の力をつける取り組みを行ってきました。

今回の研修会ではMS50の2カ年計画の折り返し地点で改めてフォローアップ研修を行い「MS50」の現状を把握した上で、今後の展開等を再確認しました。

今回のトライアル研修に参加した組合



MS50の目標達成に向けた取り組みを再確認

員幹部の面々は更に全組合員にモチベーションを向上させるため各支部ごとに組合員各社へ今回の研修内容を伝え、「MS50」の目標達成に向けて結束力の再強化を目指すこととなりました。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合は10月20日に 二十周年記念祝賀会を開催します!!



NGP協同組合では、来たる10月20日（金）福岡県の「シーホークホテル福岡」にて、通常総会と併せ、NGP

グループ創立二十周年記念祝賀会を開催することになりました。

昨年、自動車リサイクル業界では初となる事業協同組合として生まれ変わってから一年が過ぎ、「MS50プロジェクト」や「くるマック」事業など新しい展開やNGPダイレクトシステムの本格稼働など着実な前進を進めて参りましたが、本年10月をもってNGPグループとして節目の二十周年を迎えるにあたり、NGP創立の

地、九州にて通常総会並びに二十周年記念祝賀会を執り行なうこととなりました。

今回はNGPの二十周年を記念して柔道家でバルセロナオリンピック金メダリスト古賀稔彦氏の特別基調講演も予定されております。

NGPでは二十周年を新たなスタートとし、組合員全社が業界発展を目指す企業集団として今後も邁進してまいります。

NGP通信欄

< 組合員情報変更 >

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北関東	㈱CRS埼玉	会社代表	代表取締役 加藤 一臣	18年8月1日
東海	㈱ウイン	TEL・FAX	TEL 0564-33-5757 FAX 0564-33-5678	18年8月9日
九州	㈱エイ・ティ・エム	移転 (本社・支店統合)	〒800-0304 福岡県京都郡苅田町鳥越町1-50 TEL 093-435-2082 FAX 093-435-2078	18年8月3日

(有)安全自工(東京都江戸川区)



中村俊康社長

南関東支部の同社は昭和41年創業。NGPへの入会は平成8年。本社の他、千葉県に2営業所を持ち、車輛の9割をディーラーから入庫しています。

また千葉の佐倉営業所では破砕業の許可も取得しており、迅速な処理を行います。車輛は一度2営業所に運んで選別し、商品価値がある車輛から本社にて生産、それ以外は千葉でそのまま解体、スクラップ並びに輸出等に回されます。本社ではISO14001も取得。品質のみならず環境への配慮も妥協が無く、「くるマック」等の一般ユーザーからの入庫も増えています。今回はNGPの商品管理委員会委員長でもある中村俊康代表取締役社長にお話を伺いました。

「現在、弊社生産品の7~8割をNGP組合員に活用頂いておりますが、今後は全国でさらにご活用頂くべく、商品管理にも常に万全を期しております。私自身NGPブランドの品質管理を行う重要な役割を担っているため、まずは自社製品の品質向上から常に留意し、徹底して妥協の無い生産管理を行って参ります。これはNGPの信頼の礎であり、これが無ければNGPIに加入している意味がありません。ヘコミやキズがあるものはそれ以上悪くならないように管理を徹底し、ありのままをお客様に伝え、使って頂く。キズの状態や数まで正確に。注文と異なる部品を送らない。それが信用ですから、弊社は今後も商品管理を徹底して参ります。どうぞ安心してご活用下さい。」



積極的に地域活動にも貢献

ファンの声

(有)オートランナー (千葉県印西市)



武藤孝幸社長

今回お話を伺ったお得意様の代表取締役、武藤孝幸氏は安全自工の中村社長の整備専門学校時代からの先輩。以前は同じディーラーの同じ店舗に配属されていたこともあり、両社長には深い縁があるようです。武藤社長にお話を伺いました。

「弊社は千葉県内に3店舗を構え、車検、整備、钣金塗装、新車・中古車の販売を行っています。保険販売にも力を入れており、地域密着型企業として自動車のことは弊社のみで全て完結できる、『ゆりかごから墓場まで』を実現しています。

現在で創業して9年になりますが、最初は整備、钣金塗装工場としてスタートしました。車販に本格的に取り組み始めたのは3年前からです。集客のためにカーコンビニ倶楽部にも加入し、広告もチラシ、インターネット、新聞折込等を駆使しています。またガラス系コーティング「アークバリア」をディテリングビジネスとして展開し、自社でポイントカードサービスも実施しています。弊社の顧客にはこういったサービスに目ざとい主婦層が多いため、反応は上々です。

「リサイクルパーツに関しては中古部品とリビルトをほぼ半々の割合で活用しています。中古は外装部品が多く、リビルトは機能部品が多いですが、もちろん、そのほとんどを安全自工さんから仕入れています。中村社長と親しいことありますが安全自工は信頼が置け、安く、クレームがあっても対応が早い点が魅力です。電話対応、アフターフォローも素晴らしい、万が一の時に安心してしょ。

(有)西山自動車商会(神奈川県平塚市)



西山清社長

南関東支部の西山自動車商会は創業が昭和44年。西山清社長は生まれも育ちも湘南で、子供の頃からクルマ好き。高校卒業後は地元の日産車体に入社、テストドライバーを目指していた時期もありましたが独立して現在の自動車解体業を始めました。

創業当時は自動車解体のノウハウはあったものの、解体車を集めることは一からのスタートで、最初はあてもなく大変苦労したとのこと。しかし、その当時からお付き合いのあった地元のお客様に支えられて今まで来られたのだと西山社長はお客様に感謝していると言

います。そんな同社がNGPIに加盟したのは、今から5年前のことです。今のままでは車を解体するだけの解体屋から抜け出せない、部品取りをして中古部品を販売していかないとこれからはきっと厳しい時代になると考えたと言います。

「NGPIに加盟して、様々な研修に参加することがとても勉強になりました。私自身大きく変わっていくのが実感できました。組合員の方にも部品倉庫の作り方やコンピュータの使い方等々、本当に親身になって教えていただいて、何より全国に仲間ができたことに感謝しています。」と西山社長。

今は、NGPの掲げるMS50の一環とお客様への感謝の気持ちを込めて、お客様キャンペーンを実施中(部品購入ポイントに応じてお客様に粗品をプレゼント)で大好評とのこと。地元密着の営業を続けている西山自動車商会



地元密着の営業を続けている西山自動車商会

ファンの声

(有)中原自動車 (神奈川県平塚市)



冠憲治社長

中原自動車は昭和47年創業で車検・修理、钣金塗装、中古車販売などを手掛ける整備工場、カーコンビニ倶楽部にも加盟しています。同社の冠憲治社長と西山自動車商会の西山社長とはもう30年来のお付き合いとのこと。

「西山自動車商会の西山社長とは同級生で生まれも育ちも同じこ平塚ということもあって、私が工場を始める前からの付き合いです。今の時代、新品パーツを使った修理だけでは利幅も少ないですし、リサイクル部品を使った修理は不可欠です。以前は他のところからリサイクル部品を注文をしていましたが、西山さんがNGPIに加盟した5年前からは西山自動車商会一本でお願いしています。NGPIは全国ネットの組織ということもあり、前なら見つからなかった欲しい部品も高いヒッ率で見つけてくれますし、外装パネルなども、今は同色のものまで探してくれるのでとても早く仕事ができます。それに西山さんは部品が“ある”“なし”の回答が早いので仕事の段取りを組むのにも助かります。」(冠社長)

また冠社長は非常に多趣味で写真や山歩き、スキーなども大変上手とのこと。また、西山社長にとってはパソコンの先生でもあります。西山自動車商会のポスター作りやキャンペーンチラシなども冠社長に相談し、協力してもらって作成しているとのこと。「ずっと一緒に自動車に携わる仕事をしていたので、同級生でもあります。西山社長とは、これから公私共々良い関係をずっと続けたいです。」と冠社長。西山社長にとっても、冠社長はもはやお客様という感じの戦友に近いようです。